



小学部・趣向走



幼稚部・趣向走

運動会

無花果



高等部・徒競走



中学部・徒競走

No.192
令和5年7月22日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

しっかりと視線を合わせて

校長 佐々木 義範



四月に校長として聴覚支援学校に赴任しました、佐々木義範です。三十年前に初任者として赴任し、四年間、聾学校（将軍野校舎）に勤務しました。校内に掲示している本校の卒業生たちの写真を見て、当時、私の目をじっと見つめる子どもたちの輝きを思い出し、とても懐かしい気持ちになりました。一方で、子どもの成長や可能性には、無限のものと改めて感じ、職責の重さに身が引き締まる思いしております。

さて、令和五年度は、幼稚部五名、小学部五名、中学部三名、高等部五名、高等部専攻科五名の計二十三名で聴覚支援学校がスタートしました。本校が目標とする幼児児童生徒像は、「心身ともに健康で、豊かな気持ちで活動ができる」「自分を知り、友だちと仲良く、他者を尊重できる」「自ら学び、日本語の力と学力をしっかりと身につける」「自分の責任をしっかりと果たすことができる」の四つです。子どもたちがこれらの力を身につける過程では、失敗や挫折、トラブルなどネガティブなことをたくさん経験するでしょう。しかし、心折れることなく、ネガティブな経験を自分の成長につなげることができる、たくましい人に育ってほしいと願っています。

聴覚支援学校職員一同、幼児児童生徒や保護者の皆様、そして関係機関等の皆様としっかりと視線を合わせて、指導や支援に取り組んで参ります。令和五年度も、聴覚支援学校の教育活動にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

各学部の学習・行事コーナー

幼稚園部

さつまいものなえをうえたよ!

中野 純子

五月二十三日、さつまいもの苗植えをしました。幼稚園では、毎年この時期に苗を植え、秋に収穫、簡単な調理をして食べるという一連の活動に取り組んでいます。今年も、咲代子さんと蓮生さんの二人が、お休みの友達の方まで苗を植えてくれました。畑の畝に穴を掘り、穴に苗を寝かせたら、優しく土を掛けるとい苗植えの流をすぐ覚えた二人。せつせと苗を植え終えて、「おおきくなあれ」とじょうろで水やりも頑張りました。おいしいさつまいもがでるかな。どうやって食べようかな。秋が待ち遠しいですね。



小学部

楽しかったね 春の校外学習

佐々木 寿子

大森山動物園と遊園地アニパに行くことをとても楽しみにしていた子どもたち。当日はあいにくの小雨でしたが、子どもたちは雨にも負けず元気いっぱい。モルモットを抱っこしてなでたり、ヤギや猿にエサをやったり、ペンギンと追いかけてこしたり、フラミンゴのポーズをとったりと、動物との触れ合いをたっぷり楽しめました。遊園地では、ジェットコースターと観覧車へ。ジェットコースターは迫力満点で「わー!」「おもしろい!」「こわい!」と子どもたちの反応は様々でした。子どもたちの楽しい思い出がまた一つ増えた校外学習になりました。



中学部

秋聴エアライン

〜東京へ行くこ〜

熊谷 花菜

今年度の運動会の趣向走は、修学旅行をテーマにした障害物競走を行いました。「修学旅行をテーマにしたい」という意見からイメージが膨らみ、飛行機に乗り東京を目指すという流れの趣向走が完成しました。協力してタイムを決めや道具製作を行ったことで、自分たちで考え、意見を伝え合う姿が増えました。一人では難しいことも、三人で力を合わせれば実現できることを学びました。当日は晴天の下で実施することができ、生徒からも「去年は雨だったから今年はできてよかった」という感想が聞かれました。この後も、三人で力を合わせて行事などに取り組んでいきます。



高等部

会社見学会

上山 剛

五月十六日に高等部の就職希望者を対象とした会社見学会を実施しました。今年度は秋田プライウッド(株)を見学しました。合板の製造工場を見学し、丸太から製品になるまでの工程を順番に見学させていただきました。また、生徒たちも積極的に質問しました。事後指導では「大型機械を使い、効率よく作っていた」「どのようなことに心がけて仕事をしているか」など、感想や質問について、生徒同士で意見交換し、今後の進路学習に生かしていけるよう考えを深めることができました。多忙にもかかわらず、快く見学を受け入れ、丁寧に説明してくださった事業所に感謝します。



寄宿舎から

笑顔あふれる寄宿舎生活を

大嶋 央子

令和五年度の寄宿舎は、視覚支援学校の生徒一名を新たに迎え入れ、聴覚支援学校六名、視覚支援学校七名の十三名で寄宿舎生活をスタートしました。四月十九日の夕食後、新入舎生の歓迎会を両校合同で行いました。ここ数年はコロナ禍のため、体育館で距離をとって自己紹介をするだけの寂しい会でしたが、今回は寄宿舎内のホールでお互いの自己紹介、寄宿舎行事や日常生活の紹介、最後には全員で記念撮影を行うなど、終始和やかな雰囲気の中で、笑顔があふれる楽しい会となりました。



運動会



コロナ禍後の運動会を終えて

会場 一幸

今年度の運動会は、新型コロナウイルスの感染症上の位置付け変更後の実施となりました。コロナ禍以降の運動会はどうあれ、ばよいかと思案を巡らせながら、準備を進めました。

当日は快晴の下、四年ぶりにたくさんの方が集まってくれました。ご家族の皆さん、卒業生、地域の方々、ボランティアの皆さん等の笑顔が輝き、実施できた喜びを感じました。皆さんの応援と協力、そして何よりも幼児児童生徒の頑張りにより、みんな楽しんで運動会になりました。次年度以降も、安心して楽しんでくれる運動会が実施できることを願っています。



各組キャプテンから

心を一つに

赤組キャプテン

鈴木 陽心哉

今年の運動会は久しぶりにたくさんのお客さんが来校しました。エール交換では、本番までにみんなで動きやリズムを確認して何回も練習しました。当日は各組のパフォーマンスの息が合っていて美しかったことが一番印象に残っています。総合成績では、赤組が負けてしまいました。全員が全力を出し切っていました。一つにすることができました。



仲間との絆を深めた運動会

白組キャプテン

伊藤 蘭丸

雨が降ることなく開催できる喜びをかみしめながら、運動会に取り組みました。エール交換では、赤組や会場にいる方にも届くように全力でエールを送りました。当日はダンスのキレも声の大きさも練習以上でした。初めてキャプテンとなり少し不安でしたが、仲間と助け合って、ダンスや曲を決めることができて安心しました。仲間の大切さを感じた運動会になりました。



新入生の紹介

幼稚部

げんきいっぱい うめ組さん

うめ組担任 高橋 瞳



新しく幼稚部に仲間入りした、うめ組（三歳児）の九島湊斗さん。にこにこ笑顔がよく似合う、ポケモンと青色と体を動かすことが大好きなお子さんです。入学式ではとても緊張していましたが、ゆり組（五歳児）の友達か「だいじょうぶだよ」と優しく励ましてくれて、少しほっとした様子の湊斗さんでした。これからたくさん遊んで、いろいろなことに挑戦して、すてきな思い出をいっぱいつくっていきましょう。心も体もたくましく成長することを楽しみにしています。

高等部

先輩たちに囲まれて

一年担任 皆川 歩



高等部には藤田泰輝さんが入学しました。「高等部生活はどうですか」と聞くと、「楽しすぎます！」と満面の笑みで返してくれました。一人学級ですが、かつこいい先輩の背中を見て学べること、休み時間にたわいもない話で笑い合えることなど先輩たちとの関わりが日々の励みになっています。写真中央の藤田さんは、大好きな先輩たちに囲まれて笑顔が溢れています。学級目標は「I'm not afraid.」。臆せず、様々なことに挑戦するぞという熱い思いが込められています。

高等部専攻科

高め合う同志として

一年担任 三國谷 明子



高等部専攻科には長門里紗さん、畠山朱里さんの二名が入学しました。物心つく前から、もうかれこれ十五年以上の付き合いになる二名は、何をすることもあうんの呼吸。まさに学級目標に掲げた「同志」そのものです。専攻科に入学を志したそれぞれの理由を胸に、同志として自己実現に向けて努力し合う姿、言うべきことはつきりと言いつく合う姿、互いの存在がそれぞれに良い変化をもたらす姿に期待したいと思います。

PTAから

新しいPTA活動を

PTA会長 高橋 すみか

新型コロナウイルス感染症が五類となり、さまざまな制限がなくなろうとしています。子ども達は、たくさんのお我慢を強いられてきましたが、これからは心に残るような体験をたくさんさせてあげたいものです。

さて、聴覚支援学校は年々、子どもの数が減少しており、それに伴いPTA会員も減少しています。以前と同じ活動ではなく、新しい形のPTA活動を模索していく必要があります。人数が少ないからこそできる、親しみのあるPTAを作っていきたいと考えています。皆さんから様々なアイデアをいただければと思います。

